

障害者支援施設 障害者福祉センターあさひ園

1 基本方針

ノーマライゼーションの理念のもと、利用者の「地域の中で、共に働き、共に育み、共に暮らす」を実現するため、個別支援計画に沿って一般就労、地域移行を推進し、利用者の希望に沿った生活ができるよう支援する。

2 利用者の状況（令和3年3月31日現在）

（1）入所者状況

（人）

利用人数		前年度末利用者数	令和2年度中の入退所状況										利用延人員	定員に対する年間平均稼働率	年度末利用者数	
区分	定員		入所人員	退所人員	退所理由別											
					地域移行		家庭復帰	施設移管	死亡	就職	サービス変更	他				
		GH	アパート等													
就労移行※	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
継続B型	84	101	6	5	0	0	0	4	1	0	0	0	18,564	91.3%	102	
内さきゆう	20	19	1	2	0	0	0	2	0	0	0	0	3,552	73.4%	18	
生活訓練	6	5	0	2	0	0	0	1	0	0	0	1	532	36.6%	3	
施設入所	30	13	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	4,527	41.3%	12	
元年度	就労移行	6	0	4	4	0	0	3	0	0	0	0	71	5.0%	0	
	継続B型	84	83	28	9	0	0	2	4	0	0	2	18,888	94.9%	101	
	内さきゆう	20	—	21	2	0	0	1	1	0	0	0	3,778	79.7%	19	
	生活訓練	6	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	113	8.0%	5	
	施設入所	30	13	1	1	0	0	0	1	0	0	0	4,608	42.0%	13	

※令和2年4月30日付けで、就労移行支援を廃止

（2）障害支援区分

①就労移行

年度末利用者なし

②就労継続B型

（人）

性別	障害支援区分							計
	無・未就労	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	
男性	13	5	12	25	6	3	0	64
内さきゆう	1	0	2	2	2	0	0	7
女性	14	0	8	10	6	0	0	38
内さきゆう	4	0	2	2	3	0	0	11
計	27	5	20	35	12	3	0	102
内さきゆう	5	0	4	4	5	0	0	18

③生活訓練

性別	障害支援区分							計
	無・未就労	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	
男性	0	0	1	0	1	0	0	2
女性	1	0	0	0	0	0	0	1
計	1	0	1	0	1	0	0	3

④施設入所支援

（人）

性別	障害支援区分							計
	無・未就労	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	
男性	0	1	2	6	0	1	0	10
女性	0	0	1	1	0	0	0	2
計	0	1	3	7	0	1	0	12

3 事業の実施状況

(1) 新施設移行に向けた準備・対応

ア 新規導入する生活介護サービス事業について個別支援計画見直し時に説明を行い、本人の意向を伺いながら円滑に移行できるよう準備を進めた。

イ 作業種・作業メニューの整理を行うとともに、白兔はまなす園と作業連携を行い効率化を図った。

(2) 工賃の目標

ア 新型コロナウイルス感染症拡大により、自主事業（パン・喫茶）がイベントの中止、外食の自粛等の影響により収入減となったため、改善に向けて新たな販路を模索した。

平均月額工賃額は10,967円（目標平均月額工賃：15,000円以上）で、目標は達成できなかった。

イ より適正な工賃分配を検討し、施設外就労利用者の一日の単価設定金額を見直した。

(3) 利用者受入体制の充実

ア 精神障がい者など不定期な利用が増加したが、通所日については定期的な面談により不安感を取り除き、安心して利用につながるように努めた。

イ 障がい特性を踏まえた支援の充実を図るため、強度行動障がいの研修に参加し基本的知識を深めた。

(4) 就労支援の充実

ア ハローワーク主催の研修会に就労希望者が2名参加し就労意欲の向上に努めた。

イ 利用者に応じたワークトレーニングは、就労移行事業の廃止により対象者がいなくなったため、実施できなかった。

ウ 障害者就業・生活支援センターしらはまと連携し、就労希望者の体験を行った。

(5) 経営の安定化

ア 新型コロナウイルスの影響による利用の自粛が影響し、稼働率が減少した。

イ 新型コロナウイルス感染症のため例年実施している特別支援学校の実習の中止等もあったが、卒業生1名の新規利用があった。

また、就労継続B型事業については新規利用者が5名あった。

ウ 目標稼働率の設定と実績

継続B型 91.3%（目標：100%）、生活訓練 36.6%（目標：20%）、

施設入所 41.3%（目標：43%）、短期入所 34.5%（目標：81%）、

(6) 地域移行の推進と重度化への対応

ア 入所者については、グループホームへの地域移行に結びつけるため見学を行った。

イ 利用者の高齢化、機能低下に伴い、杖や浴槽内で使用する椅子などの福祉用具を使用し個々に応じた環境を整えた。

また、安心して生活をしていただけるよう見守り支援を重視しているが、職員体制や設備等で不安がある方へは関係機関と連携し個々のニーズに合った生活の場を提供していきたい。

(7) 地域貢献・地域共生社会に向けた取組

ア 地域住民が定期的に会議や集いの場所として茶房あさひを利用いただいているが、新型コロナウイルス感染防止のため営業時間の短縮・営業中止を余儀なくされた。

イ 地区公民館へパン教室、和紙教室、自閉症・発達障害等に関する相談等を予定していたが、同様の理由により地区公民館活動も自粛され実施できなかった。

4 実習、ボランティアの受入状況

(1) 実習の受入実績

実習受入先	実習期間(月)	実人員	延人員
鳥取大学	8月	2人	10人
計		2人	10人

(2) ボランティアの受入実績

実績なし

5 附帯事業

- (1) 短期入所事業 定員 空床型
 (2) 日中一時支援事業 定員 上記同様
 (3) 利用実績 (人)

事業区分	今年度利用者数		前年度実績利用者数	
	実人員	延人員	実人員	延人員
短期入所事業(宿泊有)	3	126	7	325
日中一時支援事業	0	0	0	0

6 就労支援事業の実績

作業班	2年度目標額	実績額	達成率	作業の内容
受託作業班	5,619,000円	5,447,248円	96.9%	電気・ドア部品加工袋詰め、おしぼり加工、ナット・ワッシャー袋詰め、端子加工、シール貼り、トイレトペーパー、みかん袋詰め、強性紙、板締め、紙漉、アートウォール等
施設外班	7,311,000円	7,923,196円	108.4%	企業内ライン作業、企業内清掃作業
喫茶班	3,507,000円	933,350円	26.6%	コーヒー、軽食等の販売、出店
パン製造班	13,374,000円	11,693,733円	87.4%	パン製造・販売、出店
さきゅう作業所	2,360,000円	2,348,276円	99.5%	弁当箱フタ組立、シール貼り、タオルたたみ、紙器組立、リード線加工等
計	32,171,000円	29,345,803円	91.2%	